

インゲルハイム市の街路樹が、雪による枝折れや倒木で非常に危険な状態です

2021.01.08

市内の森を通るいくつかの道路は、すでに閉鎖されています。

先週大雪が降ったため、木々には雪が大量に積もっています。

加えて、濃い霧も発生し木々が凍ってしまっているため、訪れた人が折れた枝や倒木にぶつかる危険があります。

そこで、インゲルハイム市では、州立森林管理局からの「現時点では森に立ち入らないこと」という勧告を市全域へ発信し、森につながる一つの道路は、危険なため今後数日間通行止めとなります。

追記 by Nika

先週、ドイツ全土（特に西や南西地域）で降雪が続きました。

南ドイツのボーデン湖でも、先週、たくさんの雪が降り、1月15日の金曜日には30センチもの雪が積もりました。

道路では車のアクシデントが多発し混沌としており、とても驚きました。

けれども、今週からドイツ全体が暖くなるのではないかと考えています。

ドイツの一部の地域では、13度まで気温が上がってきたところもあり、雪が解けてきています。

2月の天気はどうなるのか気になります！